

事業報告書

平成25年度

(第1期事業年度)

自 平成25年4月 1日

至 平成26年3月31日

地方独立行政法人徳島県鳴門病院

I 基本情報(法人・病院の概要)

- 1 名称 地方独立行政法人徳島県鳴門病院
- 2 所在地 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32番
- 3 法人設立年月日 平成25年4月1日
- 4 設立団体 徳島県
- 5 代表者の役職氏名 理事長 武田吉弘
- 6 役員の状況

役員名	区分	氏名	備考
理事長	常勤	武田 吉弘	前 徳島県医療健康総局長
副理事長	非常勤	三木 章男	前 日本赤十字社徳島県支部事務局長
理事	常勤	荒瀬 誠治	病院長
理事	常勤	邊見 達彦	副院長
理事	常勤	藤本 浩史	副院長
理事	非常勤	島田 清	弁護士
理事	非常勤	濱尾 重忠	県経済成長戦略アドバイザー
監事	非常勤	島内 保彦	弁護士
監事	非常勤	原 孝仁	公認会計士

- 7 組織図 別紙のとおり
- 8 職員数(平成25年4月1日現在) 516人

(単位:人)

	医師	看護師等	医療技術職	事務職	その他	合計
常勤	45	282	70	42	17	456
非常勤	6	19	6	4	25	60
合計	51	301	76	46	42	516

9 設置する病院の概要

- 1) 病院名称 徳島県鳴門病院
- 2) 所在地 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32番
- 3) 許可病床数 一般病床 307床(うち人間ドック6床)

4) 主な役割及び機能

- 救急告示病院 ○災害拠点病院 ○臨床研修病院
- 地域医療支援病院 ○開放型病院

5) 診療科目:14診療科 (平成25年4月1日現在)

内科／循環器内科／小児科／外科／整形外科／脳神経外科／皮膚科／耳鼻いんこう科／眼科／産婦人科／泌尿器科／放射線科／麻酔科／形成外科

6) 併設施設

- 健康管理センター ○訪問看護ステーション
- 居宅介護支援センター ○附属看護専門学校

10 理念

「私達は皆様に信頼される病院づくりを目指し、安全な医療を親切に提供することに努めます」

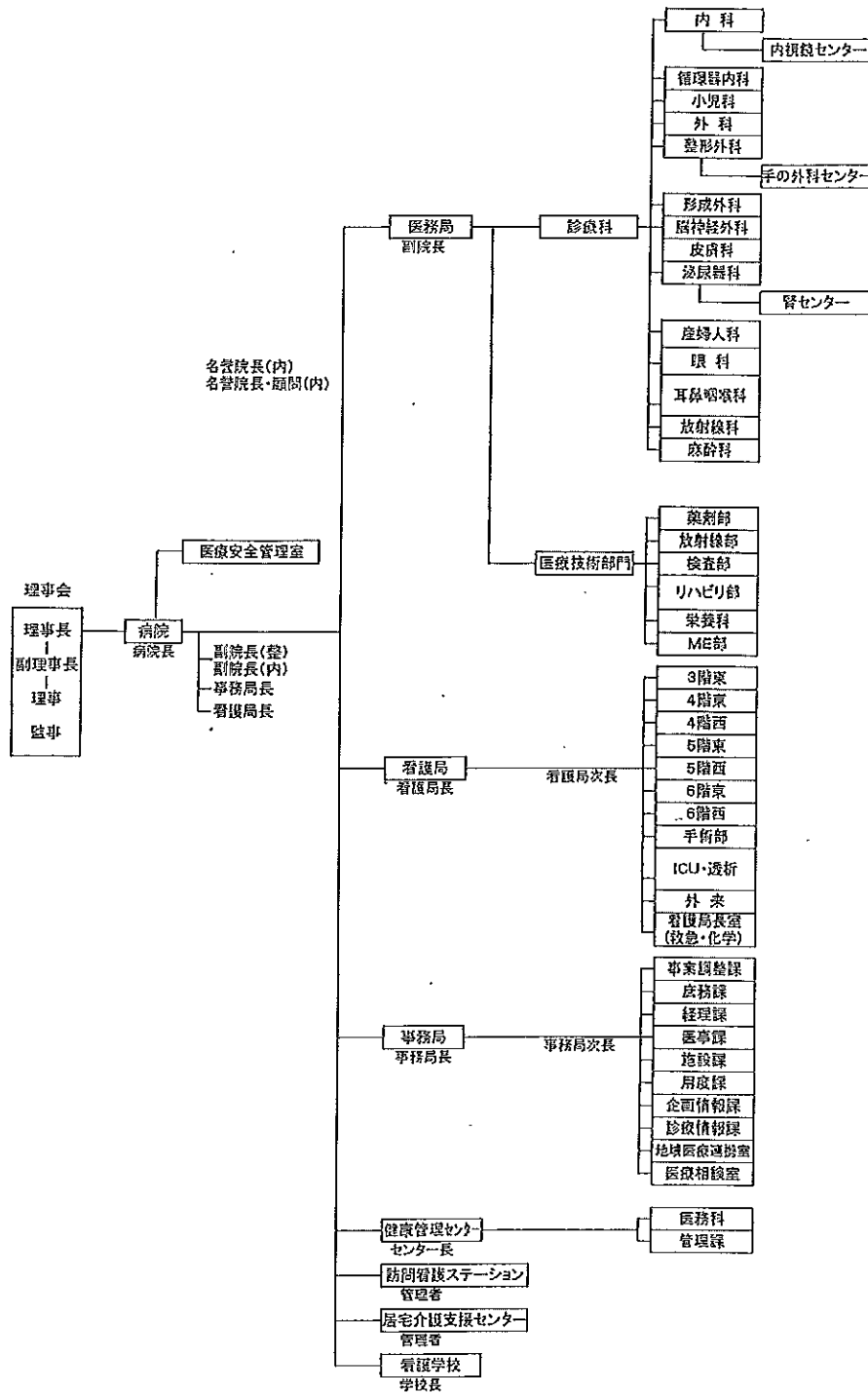
11 基本方針・基本姿勢

- ・医療の提供にあたっては 全組織力を結集して医療事故ゼロを目標に努めます
- ・患者さま一人ひとりの権利を尊重し 最適な医療サービスを的確に提供します
- ・安心して医療を受けていただける 安全で快適な環境づくりをします
- ・地域医療の発展に向け 基幹病院としての役割を正確に果たします
- ・積極的に健診事業に取り組み 地域の健康づくりに寄与します
- ・人間性豊かな医療人育成のため いきいきと仕事ができる職場づくりをします
- ・組織総合力を高めるべく互いを尊重し合い 患者さま本位に変革する知的集団を目指します

別表

地方独立行政法人徳島県鳴門病院組織図

平成25年4月1日現在



Ⅱ 当該事業年度における業務について

1 対象期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間

2 業務内容

1) 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上

(1) 診療事業

① 質の高い医療の提供

- ・ 大学等との連携強化を図り、優秀な医療従事者の確保に努めた。
- ・ 根拠に基づいた最適医療を行うため、医学会への参加を推進した。
医師の医学会等参加件数 平成25年度 138件
- ・ 最適で確実な治療を提供するため、各種診療ガイドライン等に基づくクリティカルパスを促進した。
クリティカルパス数(入院) 平成25年度 56パス
- ・ 平成25年度 薬剤師を増員し、服薬管理指導の充実を図った。
服薬管理指導件数 平成25年度 9,018件

② 患者・住民サービスの向上

- ・ 平成25年4月に窓口会計でカード決済を導入、患者の利便性の向上を図った。
- ・ 平成25年7月に待ち時間調査、9月に患者満足度調査を実施した。調査結果をもとに改善策を検討し、給食メニューの改善等に取り組んだ。

③ 地域の医療機関との連携

- ・ 地元医師会との懇話会など地域医療機関との連携に努め、紹介率が上昇した。
紹介率 平成25年度 54.3%
- ・ 平成26年3月に電子カルテシステムの更新に合わせて地域医療連携システムを導入し、地域の医療機関や医師会に説明を行い、更なる連携強化に努めた。

④ 救急医療の強化

- ・ 平成25年8月から救急室の看護師を増員し、準夜体制の強化を図った。
- ・ 消防と定期的な連絡会を開催するなど、消防との緊密な連携を図り、救急搬送患者の円滑な受入に努めた。

救急要請患者受入率 平成25年度 92%

⑤ がん医療の充実

- ・ がん診療連携推進病院として機能強化に努め、早期発見や早期治療を推進するため、平成26年3月、MRI(3.0T)を導入した。

⑥ 生活習慣病に対する医療の促進

- ・ 徳島糖尿病ネットワークシステム、同予防ネットワークシステムに参画し、地域の患者集積、追跡調査等を行った。

⑦ 産科医療や小児医療の充実

- ・ 助産師外来・母乳外来を開設し運営した。

助産師外来・母乳外来受診者延数 平成25年度 516名

(2) 地域支援事業

① 地域医療への支援

- ・ 地域の医療機関との連携を強化し、高度医療機器の共同利用を促進した。

高度医療機器共同利用数 平成25年度 1,242件

- ・ 地元医師会等と連携し、地域の医療従事者の研修会等を実施した。

② 地域への社会的貢献

- ・ 平成25年8月から玄関フロアにボランティア(看護師)による「健康相談ブース」を設置し、健康相談、血圧測定などを実施した。

- ・ 医師をはじめ医療従事者による糖尿病教室を開催した。

- ・ 広報誌「鳴門病院だより」に地域住民の健康に関する記事を掲載するほか、鳴門市医療フォーラム、出前講座、ケーブルテレビ出演等を行い、健康に対する啓発に努めた。

(3) 災害時における医療救護

① 医療救護活動の拠点機能

- ・ 災害医療コーディネーターに係る会議、研修会や新型インフルエンザ等対策訓練に参加した。

② 他地域における医療救護への協力

- ・ 災害医療コーディネーターに係る会議、研修会や中国四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練にDMATが参加した。

(4) 教育研修事業

① 質の高い医師の養成

- ・ 高度な医療を提供できる医師の養成のため、医療に関する学会等への参加を推進するとともに、専門医等の取得を促進した。

専門医等取得者数 平成 25 年度 4名(指導医 2名、専門医 2名)

- ・ 医学生への広報活動を積極的に行い、初期臨床研修医の受入に努めた。

初期臨床研修医採用数 平成 25 年度 2名

平成 25 年度医師臨床研修マッチング結果 2名

② 看護師等に対する教育

- ・ 質の高い医療を提供するため、看護師等の専門性の高い資格・認定取得等を促進した。

主な資格・認定取得等

平成 25 年度 糖尿病看護認定看護師教育課程修了 1名

インターベンションエキスパートナース認定 2名

③ 看護専門学校の充実強化

- ・ 優秀な学生を確保するため、奨学金貸与制度を創設した。

平成 25 年度 奨学金貸与者 3名

(5) 調査研究事業

① 診療等の情報の活用

- ・ 患者の年齢階層別の疾患分類等のデータを作成し、ホームページに掲載した。

2) 業務運営の改善及び効率化

(1) 業務運営体制

① 効率的な組織体制の確立

- ・ 運営方針の進捗状況を四半期ごとに取りまとめ、運営会議に報告するとともに、「職員 Web」に掲載し、全職員に進捗状況を周知、情報を共有した。

② 診療体制、人員配置の弾力的運用

- ・ 医療クラークを増員し、医師の負担軽減等を図った。また、看護助手が医師事務作業

補助者の資格取得のための研修会に参加した。

医師事務作業補助者体制 平成 25 年度 30:1

- ・ 病棟再編し看護師の効率的な配置を行い、夜勤体制等の充実を図った。

(2)業務運営方法

① 多様な契約方法の導入

- ・ 競争入札による透明性や公平性の確保に努めるとともに、複数年契約を導入するなど、費用の節減や事務の効率化に努めた。

② 収入の確保

- ・ 最適医療を実践し医業収入を確保するため、診療報酬制度等に関する職員説明会や指導を行うとともに、診療報酬の請求のチェック強化に努めた。

入院延患者数 平成 25 年度 78,052人

外来延患者数 平成 25 年度 110,970人

病床利用率 平成 25 年度 76.6%

平均在院日数 平成 25 年度 14.5日

③ 費用の抑制

- ・ 全社連特別会員として医薬品等の共同購入を行った。
共同購入医薬品目割合 平成 25 年度 91%
- ・ 後発医薬品(ジェネリック医薬品)への切り替えを進めた。
後発医薬品切り替え品目数 平成 25 年度 6品目